

平成18年度国土施策創発調査

京都を中心とした歴史都市の総合的魅力向上に係る
修学旅行生に対する体験プログラムの発掘と情報発信
に関する調査報告書（要約編）

平成19年3月

国土交通省近畿地方整備局

京都市・大津市・宇治市

■ 目次

1	調査の目的		2
2	調査手法		3
3	調査の内容		
	(1) 修学旅行生が班別自主研修で必要とする情報の収集と分類		3
	(2) 学校、保護者及び旅行エージェントが班別自主研修に必要な情報に関する検討		3
	(3) 情報の効果的な発信方法の検討		3
	(4) 体験学習プログラムの発掘、開発に関する検証		3
4	調査結果		
	(1) 修学旅行生が班別自主研修に必要な情報に関する検証結果		4
	(2) 学校、保護者及び旅行エージェントが班別自主研修に必要な情報に関する検討結果		7
	(3) 情報の効果的な発信方法の検討結果		8
	(4) 体験学習プログラムの発掘、開発に関する検証結果		8
5	まとめ		1 1

1 調査の目的

歴史都市における観光の魅力向上のためには、既存の観光素材の魅力に磨きをかけると同時に、新たな観光素材の発掘・開発が重要である。特に、新たな観光素材の発掘・開発は特定の観光地に集中しがちな観光客の分散にも有効である。また、観光を一過性の「ブーム」に終わらせるのではなく、持続可能なものとするためには、地域住民の理解・協力が必要不可欠であり、とりわけ、体験型観光を推進することは、観光客の満足度の向上だけではなく、住民と観光客の交流を促進し、相互理解を一層深めることにも繋がる。そして、実際に観光客に訪問してもらうためには、これらの情報を観光客の視点でわかりやすく、効率的に発信することが必要である。

本調査においては、「修学旅行」をテーマに、体験プログラムの発掘と情報発信に関する検討を行う。修学旅行は少子化の進展により年々縮小している市場であり、今後とも「数」の上では過度な期待がしにくい分野である。しかし、修学旅行がもたらす真の効果は、修学旅行で訪れた学生がその土地に好印象を持ち、その後リピーターとなって再びその土地を訪問することが期待できることにある。このことは、歴史都市をはじめ全国の自治体が、官民挙げて予算と人的資源を投入して修学旅行誘致にしのぎを削っていることから容易に推察できる。

明治19年に我が国で初めて修学旅行が実施されて以降今日まで、京都は修学旅行のメッカとしての地位を保ってきた。その理由として京都が寺院などの文化財を始めとする豊富な観光素材を有していたことによるところが大きい。それだけではない。常に、京都はその時代が求めるニーズに的確に応えてきたためである。

今や、中学・高校はもちろんのこと、小学校の修学旅行においても班別行動や体験学習が取り入れられる時代に突入し、体験プログラムに対するニーズは高まる一方であり、そのニーズはますます多様化してきている。

本調査においては、歴史都市をはじめとする全国の都市が修学旅行誘致・受入を促進するための参考になるように、体験プログラムの発掘と開発に関する調査を実施するとともに、修学旅行生や教師、旅行会社が必要なあらゆる情報をワンストップで入手できる情報発信のあり方について検証を行う。

【「京都への修学旅行」の現状】

- ・ 少子化により修学旅行対象生徒数は年々減少し、修学旅行生誘致の都市間競争が激化する中で、京都への修学旅行客数は、平成17年では100万5千人と、対前年比0.2%減となったものの、100万人の舞台を維持している。
- ・ 一方、近年の修学旅行の形態は、これまでの貸切バスで主要観光地を巡る団体行動から、公共交通機関やタクシーを利用した班別行動へと変化しており、学校においても班別自主研修を実施するに当たって、「学校の総合的な学習時間」に適合した体験学習を取り入れた事前学習に積極的に取り組む傾向にある。

2 調査手法

修学旅行に関する現状調査を行い、修学旅行生が班別自主研修で必要とする情報を収集し、分類・分析したものを基礎資料として、修学旅行生に対する体験プログラムの発掘と情報発信について検討を行った。

3 調査の内容

(1) 修学旅行生が班別自主研修に必要な情報に関する検証

- ・ 京都の歴史
- ・ 京都の文化
- ・ 京都の産業
- ・ 寺社，観光施設，文化施設
- ・ 体験学習施設（文化財等も含む）
- ・ 交通案内
- ・ その他修学旅行生に必要な情報
（各施設・店舗において修学旅行生割引や優待が受けられる情報等）

(2) 学校，保護者及び旅行エージェントが班別自主研修に必要な情報に関する検討

- ・ 安心，安全に関する情報
- ・ バリアフリー情報の収集

(3) 情報の効果的な発信方法の検討

上記（1）（2）で収集・分類した情報をホームページ上で効果的に発信するための検討

- ・ 施設情報と地図のリンク
- ・ テーマ別モデルコースの設定
- ・ 安否情報について，教師が携帯電話から入力することにより，ホームページ上で保護者が確認できるシステムの構築

(4) 体験学習プログラムの発掘，開発に関する検証

既存の体験学習情報の収集とは別に，体験学習未実施の寺院，神社，文化観光施設等に対して，体験学習実施に向けた課題の抽出と条件整備，開発支援（実施ノウハウの提供）を行う。

なお、調査については、将来的に修学旅行生だけでなく、一般観光客や外国人観光客も利用することを踏まえた内容とする。

4 調査結果

(1) 修学旅行生が班別自主研修に必要な情報に関する検証結果

○ 京都の歴史

平安時代、鎌倉～室町時代、安土桃山～江戸時代、幕末以降と時代別に分け、歴史の縦軸と現在ある京都の横軸とを学ぶことで立体的な歴史感覚を育てる必要がある。

○ 京都の文化

体験などの事前学習をはじめ、京都には学ぶべき文化が多くある。古典文学、伝統文化、美術、祭、食と暮らしの項目に分けて、文章のほかに表や写真も入れる。

○ 京都の産業

京都は歴史と文化の町として知られるが、産業の町でもあることをPRする。伝統産業、近代化、ハイテク産業の項目を学ぶ。

○ 寺社、観光施設、文化施設

「京都を歩こう」の項目で、自由な観光地の選択を可能にする。

- ・ エリア別、カテゴリ別に紹介
- ・ 修学旅行必須データの追加
- ・ 京都の歳時記

京都の4大行事（葵祭、祇園祭、大文字送り火、時代祭）

- ・ 文化財鑑賞の手引き

少しでも知識があると、修学旅行生の興味関心が高まるため、建築物、仏像、庭園の項目を充実させることが求められる。

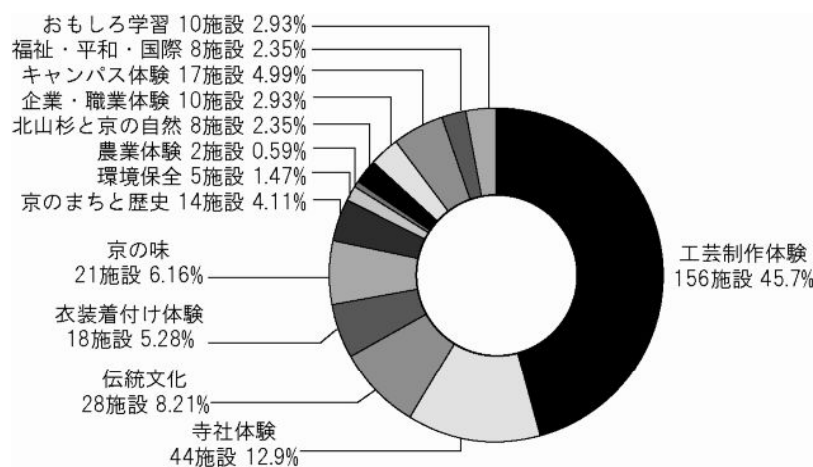
- ・ 建築物の見方
- ・ 仏像の見方
- ・ 庭園の見方

○ 体験学習施設

体験学習施設 ジャンル別内訳（合計 341）

ジャンル	施設数
工芸制作体験	西陣織 6 施設
	友禅染 21 施設
	絞り染め 5 施設
	染色 11 施設
	京繻 4 施設
	京くみひも・京房ひも 7 施設
	京焼・清水焼 24 施設
	各種陶芸 5 施設
	京扇子 8 施設
	竹工芸・木工芸・木版画 6 施設
	京漆器 8 施設
	金属工芸 6 施設
	京念珠 4 施設
	人形 6 施設
	和紙工芸 8 施設
	各種伝統工芸 18 施設
	クラフト制作 9 施設
寺社体験	44 施設
伝統文化体験	総合伝統文化体験 6 施設
	茶道・華道・香道 10 施設
	能・狂言 5 施設
	伝統音楽・舞 7 施設
衣装着付け体験	着付け体験 5 施設
	舞妓着付け体験 8 施設
	平安装束着付け体験 5 施設
（製造体験）京の味	八つ橋 3 施設
	和菓子 8 施設
	京湯葉・京麩 2 施設
	京の酒 2 施設
	抹茶 2 施設
	京漬物 2 施設
	京料理・そば 2 施設

京のまちと歴史体験（埋蔵文化財発掘、町家見学）	14	施設
環境保全体験	5	施設
農業体験（京野菜収穫体験など）	2	施設
北山杉と京の自然体験（丸太磨きなど）	8	施設
企業・職業体験（商店街での販売体験など）	10	施設
キャンパス体験	17	施設
福祉・平和・国際体験（車イス体験、留学生交流）	8	施設
おもしろ学習	10	施設



○ 交通案内

京都の交通ははじめて京都を訪れる人にとって複雑である。市内の移動に必要な情報を取捨選択し、修学旅行生にわかりやすい移動方法と移動例を検討した。

- ・ 京都市の交通機関
- ・ バス
- ・ 鉄道
- ・ 移動例

○ 土産品情報

- ・ 伝統工芸品、食べ物

○ その他修学旅行生に必要な情報

トピックス

よくある質問

注意事項・マナー

コラム